

荒尾干潟ポスター表彰式

荒尾干潟をテーマに、市内の小学生に募集した67作品の中から会長賞と特選に選ばれた3人が表彰され、荒尾干潟保全・賢明利活用協議会の西川会長より賞状と副賞として有明海の手渡り海苔が手渡されました。



会長賞

一小5年
増田 壘さん

学校行事で行った時の干潟の写真を見ながら描きました。



特選

有明小3年
福留 唯さん

干潟にはよく遊びに行きます。干潟にたくさんいるカニを描きました。



特選

桜山小6年
田邊 由衣さん

絵を描くのが好きです。絵の具の使い方をみんなに見てほしいです。



小学生による荒尾干潟に関する発表

「荒尾の魅力「荒尾干潟」を守ろう!」をテーマに、有明小の3人が環境学習を通して学んだことを発表しました。その中で、市の魅力である荒尾干潟を守り、広めていきたいと話していました。

学校で班に分かれて担当を決め、荒尾干潟のことを調べました。たくさん練習をしたので発表が終わってホッとしました。

左から、有明小 5年
上田 凛太郎さん 頼娃 崇弘さん
みやざき そつた
宮崎 颯大さん



潮が引いている時間は
みんな干潟で遊びます!



有明海の保全・再生に関する パネルディスカッション

有明海のラムサール条約湿地に登録されている、東よか干潟(佐賀市)、肥前鹿島干潟(鹿島市)、荒尾干潟のさまざまな取り組みを紹介。渡辺教授も参加し、有明海の保全・再生に関する意見交換を行いました。これからは、3湿地で連携しながら有明海の保全と賢明な利用(ワイズユース)を目標に取り組んでいきます。



2022年

7/3

Report

荒尾干潟ラムサール条約湿地登録 10周年記念事業を開催しました

ほうじょう 「豊饒の海を目指して」をテーマに 市内2会場で記念事業を開催

午前の部では、「荒尾干潟から学ぶ」として小学生が描いたポスターの表彰式や環境学習の発表、講師を招いての講演、パネルディスカッションなどが文化センターで行われ、荒尾干潟の保全と賢明な利用(ワイズユース)の推進・啓発の大切さを再確認することができました。午後の部では、荒尾干潟・水鳥湿地センターで参加型イベント「荒尾干潟体験フェスタ」を開催し、賑わいました。

「荒尾干潟から学ぶ」
文化センター▶



◀「荒尾干潟体験フェスタ」
荒尾干潟・水鳥湿地センター

Top Comment



荒尾干潟保全・賢明利活用協議会 西川 幸一 会長

荒尾干潟保全・賢明利活用協議会では、ラムサール条約湿地の保全、賢明な利活用を通じて荒尾干潟の重要性を周知・啓発するさまざまなイベントを開催してきました。これからは荒尾干潟の環境を保全し、より良い環境にしていくため、活発に活動していきます。



あさだ としひこ
浅田 敏彦 市長

オンリーワンの魅力が満載の荒尾干潟は、市内外から人が集まるようになり、地域活性化が進んでいます。海岸のごみ拾いなど、保全の重要性も広く浸透してきました。今後も多くの恵みを与えてくれる荒尾干潟の多様性や美しい環境を未来へ引き継ぐことができるように、皆さんと連携して取り組んでいきます。

講演「有明海の再生について」

わたなべ りょういち
講師 福岡大学 渡辺 亮一 教授

渡辺教授は、有明海の再生に向けて、フルボ酸鉄シリカ資材を用いたヘドロの浄化実験から、アサリなどの保全・再生の取組について講演しました。「豊饒の海を作るためには自然環境における循環を理解することが重要で、自然の再生を促す流れを作ること、生きものの保全や豊かな干潟を未来につなげることができる。」と話しました。

